



2019年5月9日

各 位

会社名 株式会社リプロセル
 代表者名 代表取締役社長 横山 周史
 (コード番号: 4978)
 問合せ先 経営管理部 吉村 美旋律
 シニアマネージャー
 (TEL. 045-475-3887)

**営業外費用(持分法による投資利益の減少)の計上及び
 2019年3月期通期個別業績予想と前期実績との差異に関するお知らせ**

当社は、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)において、下記の通り営業外費用(持分法による投資利益の減少)を計上する見通しとなりましたので、お知らせいたします。

また、2019年3月期個別業績予想を新たに算出いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用(持分法による投資利益の減少)の計上

当社の関係会社である株式会社リプロキレートの財政状態及び経営成績を勘案した結果、当社が保有する株式会社リプロキレートの株式について、連結決算において、持分法による投資損失12百万円を計上することになりました。一方、当社の持分法適用会社であるCell Innovation Partners, L.P.が保有する投資有価証券の一部の売却等による持分法による投資利益があり、その結果、2019年度3月期における持分法による投資利益は、合計で80百万円となりました。

2. 通期個別業績の予想について(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前期(2018年3月期) 実績(A)	405	△421	△291	△3,603	△56.87
当期(2019年3月期) 予想(B)	491	△343	△191	△213	△3.12
増減額(B)-(A)	86	78	100	3,390	—
増減率(%)	21.4	—	—	—	—

(1) 予想数字の算出理由

当社グループでは、iPS細胞を事業の中核に据え、事業領域を「研究支援事業」と「メディカル事業」の2つに分けて事業を推進しています。「研究支援事業」における売上はiPS細胞受託ビジネスを中心に堅調に推移しておりますが、「メディカル事業」においては臨床検査受託サービスによる売上が大幅に増加する見込みです。これは、2018年4月1日より当社の臨床検査受託サービスの主力項目である抗HLA抗体の検査が全ての臓器移植後において保険収載されたこと等によります。以上により、売上高が前期と比べ大幅に増

加する見込みです。

当期純利益が前期と比べて大幅改善した理由につきましては、以下の通り関係会社株式評価損計上額の差額によるものです。

2019年3月期において、上記1.の通り当社の関係会社である株式会社リプロキレートの財政状態及び経営成績を勘案した結果「金融商品に関する会計基準」に基づき、当社が保有する株式会社リプロキレートの株式について関係会社株式評価損20百万円を計上することとなりました。

一方で前期においては、当社の連結子会社であるREPROCELL USA Inc.（米国）及びREPROCELL Europe Ltd.（英国）の財政状態及び経営成績を勘案した結果「金融商品に関する会計基準」に基づき、当社が保有するREPROCELL USA Inc.およびREPROCELL Europe Ltd.の株式について関係会社株式評価損3,301百万円を計上いたしました。

以上により、通期個別業績予想数字を新たに算出いたしました。

※本業績予想につきましては、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上